

海外農業研修を もっと身近に!!

助成制度の紹介

日本政府は「世界で活躍したい」という高い志を持つ若者を後押しするため、2033年までに海外留学生を50万人にする目標を掲げています。グローバル化が進む今、日本の若者が海外で学び、経験を積むことはますます重要になっています。

海外農業研修でも、国や企業などの助成制度を活用することで、参加費用の大きなサポートを受けることができます。多くの研修生が上手に制度を活用して自己負担を抑えながら参加しており、世界への挑戦を現実的なものになっています。

農業教育高度化事業（農林水産省）

海外農業研修を修了後に就農すると宣言した方を対象に、研修に要する経費の半額（最大60万円）が補助されます。

就農準備資金（農林水産省）

海外農業研修を修了後1年以内に就農する場合、研修期間1年につき150万円が給付されます。

バイエル スカラーシップ

バイエル社の出資によって設けられた、海外農業研修生を対象とした奨学金制度です。所定の書類を提出し、選考委員会による審査で選出された奨学生に、1人あたり20万円の奨学金が給付されます（各年度5名以内）。

Jミルク酪農ステップアップ支援／チャレンジ支援

一般社団法人Jミルクより、海外農業研修で酪農を学び、将来酪農業に就く研修生たちに対して、実施される助成金です。最大120万円の助成を受けることができます。

研修生サポート資金

JAECが研修参加者を資金的にサポートする貸付制度です。選出された研修生1人当たり50万円まで無利子で利用いただけます。



お問い合わせ先

公益社団法人国際農業者交流協会

☎ 03-5703-0252 ✉ agtre@jaec.org

<https://www.jaec.org/>

LINE



Instagram



facebook



YouTube



オンライン説明会



公益社団法人 国際農業者交流協会

☎ 03-5703-0252 ✉ agtre@jaec.org

<https://www.jaec.org/>

CHECK!





留学で、自分の可能性を
広げよう

現代社会において、国際的な視野を持つことはこれまで以上に重要になっています。海外留学は、単に語学力を向上させる手段にとどまらず、異なる文化や価値観に直接触れ、自らの考え方や行動を見つめ直す貴重な機会です。

「百聞は一見に如かず」という言葉が示す通り、どれだけテレビやSNSで情報を得ても、実際に現地で五感を働かせて体験することに勝る学びはありません。留学先では、日常生活や学習の中で多様な人々と交流し、異なる考え方や習慣に触れることで、多様な思考や問題解決力を身につけることができます。

さらに、海外での生活は自立心や自己管理能力を高める絶好の機会でもあります。言語の壁や文化の違いに戸惑いながらも、自ら考え行動する経験は、将来のキャリアや人生において大きな財産になるに違いありません。

留学は確かに簡単な道ではありません。時として困難にぶつかることもあるかもしれません。しかし、挑戦し乗り越えることで得られる達成感、他の何にも換え難い経験です。

さあ、あなたも海外で挑戦し、新たな自分の可能性を広げてみよう!!

海外に挑戦するあなたを、 国や企業など多くの団体が応援しています

以下のサイトから情報をチェックしよう!

農業をはじめの.JP

<https://www.be-farmer.jp/>

農業を仕事にしたいと考える方に
役立つ情報を集めたポータルサイト



公益財団法人 北海道農業公社

<https://www.adhokkaido.or.jp/>

農業研修を実施



一般社団法人 Jミルク

<https://www.j-milk.jp/>

酪農家を目指す海外農業研修生を支援



全国農業青年クラブ連絡協議会

<https://zenkyo4h.com/>

若者農業者同士のつながりを広げる組織



トビタテ! 留学JAPAN

<https://tobitate-mext.jasso.go.jp/>

奨学金の支援など、若者の留学を支援



公益社団法人 国際農業者交流協会の 海外農業研修(アグトレ)

海外農業研修は、1年~1年半の期間、海外の農場で実際に農作業に携わりながら、技術や知識、そして国際感覚を身につける実践型プログラムです。

農業の国際化が進む今、海外の生産現場で学んだ経験や視点は、日本の農業にとってますます重要になっています。アグトレでは、日本ではなかなか経験できない大規模農業や、先進国の農場で実際に行われている生産管理・労務管理・農場経営の考え方を、学ぶことができます。

「海外で農業を学びたい」「国際的な視野を持った人になりたい」—— そんな想いを持つ人に開かれた、成長と挑戦のためのプログラムです。

研修コース

※参加条件がありますので要領をご確認ください。

[アメリカ]

期間: 約1年半



このコースの最大の特徴は、大学での学習と農場実習を組み合わせた「サンドイッチ教育」です。基礎学習(大学)、農場実習、専門学習(大学)を組み合わせることで、アメリカ農業を多角的かつ体系的に学ぶ機会が提供されます。

[デンマーク]

期間: 約1年



デンマークは北欧の畜産大国で、日本にも豚肉やチーズを多く輸出しています。高い生産性と優れた畜産マネジメント能力を持つ農家の下で、国際的な農業ビジネスや畜産管理を学べます。

[スイス]

期間: 約1年



環境意識の高い国として知られ、農家の多くが環境保全型農業を実践しています。持続可能な農業のあり方や資源管理、自然と共に生きる農業の姿を学べます。

[ニュージーランド]

期間: 約1年



ニュージーランドは、広大な土地をを活かした放牧ベースの畜産が盛んな国で、特に乳製品は世界最大の輸出量を誇ります。さらに、フルーツや花卉の栽培など園芸分野も有名で、多様な農業が魅力的です。

国内 実習

アプレンティスシップ

海外農業研修に参加を考えている人の中には、これまで農業に触れる機会がなかった方もいるかもしれません。しかし、農業経験がないまま、いきなり外国の農場で実習をするのはリスクがあります。そこで、日本国内の農場で実践的に農業を学ぶプログラムがアプレンティスシップです。

アプレンティスシップでは、海外農業研修OB・OGの農家の下で実習をし、基礎的な農業技術や知識、忍耐力やコミュニケーション力を身につけます。さらに、3カ月以上実習を積み、所定の報告書を提出すると選考が免除されるメリットがあります!

応募から渡航まで

募集期間

令和8年1月13日(火)~ 8月8日(土)

1 まずはプレエントリー (仮申し込み)

協会ホームページでフォームを開き、
必要事項を記入の上、送信します。

【プレエントリー期間】

令和8年1月13日(火) ~ 7月26日(日)

2 応募書類を入手

協会からメールで応募書類が届きます。

3 必要書類を提出

【推薦応募】 応募書類を推薦してもらった都道府県の
担当課窓口に郵送します。

【一般応募】 OB・OGから推薦をもらい、その他
書類と一緒に協会宛に郵送します。

4 オンライン選考会と面談

書類審査及びオンラインによる面談を実施します。
面談では研修に対する準備状況の確認の他、
初歩的な英会話力と基本動作確認を行います。

5 合否通知

メールにて結果を通知します。

6 オンラインオリエンテーション

海外渡航、農業研修にあたっての
レクチャーがあります!

7 事前講習 ※全コース

8泊9日の宿泊研修を実施します。

研修生同士の交流、研修に参加するにあたっての
心構えなどを目的としています。

8 渡航

いよいよ渡航! 東京に集合し、
いざ海外へ!



応募要領はこちらから! ➡

<https://www.jaec.org/pdf/guidebook2026c.pdf>



アプレンティスシップはこちらから! ➡

<https://www.jaec.org/program/apprenticeship.htm>

